

◆通常総会開催される◆

平成23年4月10日(日)、かながわ県民センターホールにおいて神奈川県合唱連盟平成23年度総会が 開催されました。

まず開会に先立って、3月11日に発生した東日本大震災の被害に遭われた方々をお見舞いすると共に不幸

にも亡くなられた 方々に対して黙祷を 行いました。

開会にあたっての 田中登志生理事長の 挨拶の中でも、震災 のあまりにも大きな 被害に対し、被災地 はもとより本県でも





震災の犠牲者を追悼し会場の全員で黙とうを捧げる

様々な被害が発生したことに対して、お見舞いの言葉が述べられました。

本県連でも、3月13日(日)に予定していたかながわヴォーカルアンサンブルコンテストと4月2日(土)に予定していた神奈川県ジュニア合唱祭が残念ながら中止となってしまいました。

また、関内にある県連事務所も震災により天井がはがれたり、棚が倒れるなど被害が発生しました。震災後も続く頻繁な余震や計画停電、不安定な交通事情などを考慮し、一時は総会自体の中止も検討しましたが、会場には多くの会員の方々にお集まりいただきました。

議事については、議長に円混声合唱団の髙橋謙治氏、書記に横須賀女声合唱団の光末鐐子氏が選任され、 平成22年度事業報告、同収支決算報告、同監査報告に続いて、平成23年度事業計画案、同収支予算案の審



会場の皆さんに挨拶をする田中理事長

議が行われ、いずれも異議なく承認されました。

なお、事業報告・決算報告の中では、かながわヴォーカルアンサンブルコンテストおよび神奈川県ジュニア合唱祭が中止になり、参加費の払い戻しが行われたことが報告されました。県立音楽堂の使用料については、音楽堂のご厚意により、返金は行なわれないがそのまま次年度の使用料としていただけることとなりました。

また県連でも義援金を受け付け、本年度開催の各事業で募金箱を設置することとなりました。集まった義援金は朝日新聞社の朝日厚生福利事業団を通じて被災地の復興に役立てられます。(義援金募集の詳細は最終ページをご参照ください)

各合唱団でも演奏会や練習が中止や変更になるなど大変な年度の始まりとなりましたが、こんな時だから こそ合唱の力で、世の中を明るくしたいものです。

「第 34 回全日本おかあさんコーラス関東支部神奈川県大会」開催報告

おかあさんコーラス大会実行委員会: 実行委員長 松浦ゆりや

4月23日(土)神奈川県立音楽堂にて「第34回全日本おかあさんコーラス関東支部神奈川県大会」が開催されました。

3月に東日本大震災が起き、津波と福島原発事故での被災で、日本中が困難を極める状況のなか、神奈川県合唱連盟も昨年度末の3月のヴォーカルアンサンブルコンテスト、4月のジュニア合唱祭を中止と決めました。その後の計画停電や何事も自粛というなかではありましたが、この大会は県立音楽堂、朝日新聞社、協賛のキューピー株式会社、その他様々の企業の協力をいただいて、開催することができました。



本番での演奏の様子

当日は雨、風の強いあいにくの天候でしたが、出演者以外にも多くのお客さまが足を運んでくださいました。出演 23 団体 519 名に加え、招待演奏 2 団体の気持ちのこもった見事な演奏が披露され、会場いっぱいのあたたかい拍手がさらにステージを盛り上げてくれました。今年は例年に比べ、若いおかあさんが増えているように思われ、それはとても嬉しいことのひとつでした。

すべての演奏終了後に優秀賞(6団体)、優良賞(6団体)が選出され、 優秀賞6団体と優良賞3団体(抽選により)の、合わせて9団体が 関東大会への出場権を得ました。受賞された団も惜しくも叶わなかっ

た団の皆さまも達成感と選考委員の先生方の講評を糧に益々のレベル

アップを誓い、晴れやかに帰途についた一日でした。

関東大会は7月16日(土)・17日(日)の二日間にわたり、宇都宮市文化会館(栃木県宇都宮市)で開催されます。

受賞団体は次の通りです (出演順)。

◆優秀賞

あんさんぶる"風雅" 逗子女声合唱団 女声ヴォーカルアンサンブル「おときかく」 女声合唱団コーラル・ベル

緑フラウエンコール 桐蔭学園『桐響会』

◆優良賞

ラ・カンパネラ* ビナ・フィオーレ* 女声合唱団クール・クロア

コール・モモ コール・フォンティーヌ コール・リリカ*

(*は抽選により関東大会出場団体)

【選考委員 (五十音順 敬称略)】

大志万明子(声楽家) 郡 愛子(メゾ・ソプラノ)

鈴木 茂明(声楽家・指揮者)

田尻 明規(指揮者) 渡辺三郎(合唱指揮者)

最後になりましたが、この度の東日本大震災で被災された方々に心よりのお見舞いを申しあげます。今後とも長い時をかけまして、カノンをお読みいただいている皆さまと一緒に支援を続けさせていただきたいと思っております。



実行委員の皆さん

2011年度NHK全国学校音楽コンクール 課題曲講習会開催報告

NHK 全国学校音楽コンクール 課題曲講習会実行委員会 実行委員長 金子佳弘

三月の東日本大震災では多くの尊い命が奪われ、大津波によって引き起こされた福島第一原発の大事故では深刻な電力 需要の中、余儀なくされた計画停電、以来、連盟では三月から四月にかけての伝統行事が相次いで中止となりました。こ

のような国難の中、児童・生徒を安全に引率していただく必要のある当講習会を実施して本当に良いのかどうか頭を悩ませました。幸い、交通機関が徐々に回復し、会場の計画停電の予定がなかったこともありますが、三月に NHK 教育テレビで見た課題曲の紹介番組で高校部門の曲の中の詩の一つ一つが心に響き、偶然にも被災者の思いにそのまま重なりました。ですから、この講習会は何としても開催し、講師の古橋富士雄先生、モデル校の皆さん、そして会場に駆けつけて下さった受講者の



坂戸小学校

皆さんと心を一つにし、気持ちを共有したい と思いました。開催できたことを心から嬉し く思います。



熱心に指導される古橋富士雄先生

茅ケ崎市立松林中学校

合唱団とユース松林

小学校部門はやなせたかし氏の詩に鈴木憲夫氏が付曲した「ぼくらは仲間」という親しみやすく、美しいメロディーが随所に散りばめられた逸品で、モデルを務めた坂戸小学校の綺麗な歌声が、発語・発声の面で古橋先生の巧みな指導技術でさらに輝きのある素晴らしい演奏に進化しました。指導担当の中島はるみ先生は平素からたいへん熱心に子どもたちを導き、小学生では難しいとされるディミィニエンド

の掛け方の上手さには驚かされました。如何に中島先生が愛情と情熱をもって指導していらっしゃるかが一目でわかる演奏で、私にとって忘れることができない学校の一つとなりました。

中学校部門は当連盟理事の大森智恵子先生が率いる茅ケ崎市立松林中学校合唱団と卒業生で組織されるユース松林の合同で混声合唱の形態で臨んでいただきました。深刻な電力需要の中、夜間の練習を主としている団体ですが、様々な制約が生じる中であっても見事に大役を果たしていただきました。今回の課題曲の原曲はフランプールという若い世代に人気のあるポップスグループによる「証」という作品を、作曲家の加藤昌則氏による編曲で中学生の心に直に伝わる作品とな

りました。モデルの皆さんもこの曲から発せられるメッセージに心を寄せ、特別な思いを感じていたように思いました。古橋先生の的確なアドヴァイスによってさらに輝きを増した演奏に変化したことは言うまでもありません。ポップスの編曲物は原曲の雰囲気を活かすため、ビートを効かせた演奏技術が必要で、いわゆる普通の合唱と同じ歌い方では作品の味が活きません。それ故、演奏者にはセンスが求められ、それが最も難しい部分でもあるわけです。コンクールに出場する学校の皆さんはその点を踏まえ、練習に入っていただきたいと思います。

高校部門は当連盟理事の丸山惠子先生率いる日本女子大学附属高等学校コーラスクラブにお願いしました。

中学部門で時間を押した関係で、客席に聴講者がいる時点でリハーサルが行われ

ましたが、最初から渾身の演奏が行われ、それだけでも聴講者は圧倒されていたように思います。この課題曲はポップスの歌手にも様々な詩を提供している銀色夏生氏が詩を手掛け、今活躍がめざましい若手女流作曲家である上田真樹氏によって「僕が守る」というNHK コンクールの長い歴史の中にあって傑出した素晴らしい作品となりました。



日本女子大学附属高等学校 コーラスクラブ

モデルを務めた皆さんの演奏に対しては、古橋先生はほんの少し味を付け足しただけで、完璧に近い演奏となりました。ソプラノの高音を難なく歌いこなせる技術は容易ではありません。また、初演の指揮を担当した合唱指揮者の清水敬一氏は日頃から仲間への思いを寄せ、大切に演奏してほしいという旨のコメントを残しています。今の日本が抱えている深刻な状況の中で、偶然にも誕生した宿命とも思われるこの作品は広く一般の方にも大切に演奏してほしいと思います。

また、この講習会では六月に日本合唱指揮者協会が主催する「合唱の祭典」で毎年行われている「NHK 課題曲講習会」の実行委員長で、当連盟の理事でもある藤原規生氏が駆けつけて下さり、講習終了後の舞台の撤収をも手伝っていただきました。今年の NHK コンクールのテーマがずばり「仲間」ですから、モデル合唱の指導をし

ていただいた先生方を始め多くの合唱仲間から支えられた今回の講習会は理事就任 10 年目となる私にとって集大成の事業となり、これを超えた事業の展開は非常に難しいものと思っております。

東北の合唱人に心を寄せると共に連盟を始め、多くの関係者、合唱機関の皆様に心から感謝申し上げます。

『かながわの合唱団を訪ねて』

第10回: 【シニア】 瀬谷混声合唱団

この日訪れたのは、昨年落成したばかりの新瀬谷公会 堂。以前あった古い建物からの建て替えです。取材時(平成22年11月)にはまだ完全には完成しておらず、公会 堂部分のみ先行して完成したとのことですが、新しい建 物独特の香りに包まれた、フレッシュな気分を味わいま した。

客席は車イス席を入れて 500 程度。近年発展著し い瀬谷区の現状を考える と、もう少し大きめの収 容人数でもよかったかも しれません。取材に伺っ た演奏会でも、会場は満



新瀬谷公会堂の正面玄関

員になっていました。もちろん、この合唱団の人気を物 語る結果でもあります。

本日お伺いした合唱団は瀬谷混声合唱団。今日開催していたコンサート『悠久のタオ II』の出演団体の一つでもあります。

この演奏会は、瀬谷混声合唱団をはじめ、せやあじさいコーラス、他1団体の合計3団体での合同演奏会です。 老子の説く3つの宝「愛」「足(たる)を知る」「争わず」を主テーマとし、瀬谷に伝わる民謡曲を中心に、指揮者の張(チャン)のり子先生による独自編曲も含めた合唱曲で構成する演奏会です。前回は平成19年に開催し、今回で2回目の開催になります。







『悠久のタオⅡ』演奏会の様子

歌うと同時に、舞台上で繰り広げられる、独自の振付をつけた演出が、満員の会場の人々の目を釘づけにします。その様子は合唱の演奏会というよりも、ある種のオペラを彷彿とさせる、演技力がピカリと光る演奏会でした。また農村の牧歌的風景を思い起こさせる、日本色豊

かな衣装も会場では好評でした。

瀬谷混声合唱団の結成は20年前。ある演奏会で第九を演奏する機会があり、そのメンバーの中で瀬谷地区の方



たちが集まって合唱活動するようになったのが、瀬谷混声合唱団の始まりだそうです。地域に根ざした活動をしながらも、昨年横浜みなとみらいホールで開催された国際シニア合唱祭『ゴールデンウェーブ in 横浜』で最優秀賞を受賞するなど、活発な演奏活動を繰り広げています。

団長の佐藤さん

「この『悠久のタオ』という演奏会は不定期で行っています。今回は3年ぶりの開催となりました。『3つの宝』を元に、感動する演奏会を目指しています。張先生の指導通りには演奏することは難しいのですが、皆楽しく頑張っています。」と語っていただいたのは代表の佐藤武司さん。当日ということもありましたが、この演奏会にかける意気込みが伝わってきました。

指揮者の張先生にもお話 を伺いました。

「『悠久のタオ II』という演奏会は、加島祥造さんの『伊那谷の老子』という本から感銘を受けたことが出発点でした。元々、瀬谷区民手作りの民謡曲があり、



熱心に指揮をする張先生

それを埋もれさせずに歌い継ぐことはできないかと考えていたところ、この本と出合い、内容が民謡曲と重なるところが多分にあることに気づき、両者を合体させることで素晴らしい表現ができるのではないかと考えたのがきっかけです。」

瀬谷混声についてもお伺いしました。

「『瀬谷混声合唱団』という名前の前に『劇団』という 単語をつけた方がよいくらい、ノリが良く楽しい人たち が集まっています。私の考えとして、まず各自の声を育 てることを目標にしています。その上で、荒削りでもよ いから聴いていて楽しい演奏、心を打つ演奏を目指しています。」

これからも瀬谷の地に根付いた民謡曲を、末永く歌い継いでください。 (記事:カノン担当 栗林)

~合唱団概要~

■名 称:瀬谷混成合唱団

■代表:佐藤武司■指揮者:張のり子

~特別企画:加盟団体の演奏会見聞録~ 編集長の『演奏会を訪ねて』

【混声合唱団 横浜ルミナス・コール】

◆第 10 回定期演奏会 ~光あふれて~ 2011 年 5 月 29 日(日)神奈川県立青少年センターホール

台風が近づく大荒れの天気の中、演奏会の会場である神 奈川県立青少年センターホールに向かいました。

隣接している音楽堂には、年に何度も出かけていますが、 その隣にこんな立派な会場があったとは不覚にも知りませんでした。客席数 812 名。響きはやや物足りない感じもしますが、50 人近い団員数を誇るルミナスの演奏を聴く分には、全く問題ありませんでした。

ルミナスの演奏会は次の3ステージで構成されています。

- ・第1ステージ:光より生まれし光 ~宗教曲集~
- ・第2ステージ:新しい歌 ~歌うよろこび~
- ・第3ステージ:光の輝き ~ルミナス オリジナルステージ~

全ステージを通して舞台に向かって左隅に即席のラジオ 局の放送スタジオに見立てたセットを作り、そこで進行役 の団員が静かな語りを織り交ぜながら演奏会を進めていく という、面白い趣向で聴衆をひきつけていました。惜しむ らくは、是非本物の司会者を使って進行してほしかったこ と。本物の司会者を招聘することで、一皮むけた演奏会に なると思います。

第3ステージは演劇(ミュージカル)仕立てのステージでした。実は私、合唱団が行う演劇が好きではありません。以前見た某団体の演奏会では練習の後も見えず、声も聞こえず、演者は恥ずかしがりながら演じ、見ている方が恥ずかしいひどいものでした。その印象を全く変えてくれたのがこの『光(Luminous)』をテーマに繰り広げられた演劇です。出演者の方は恥ずかしがりもせず、しっかりと演技をしながら歌も歌いこなしており、時間を感じさせない50分間を過ごしました。今後とも是非続けてほしいですね。

アンコールを含めると 25 曲を超える曲数になるため、詳細な曲紹介は記述しませんが、その中で私が気にいった曲を1曲紹介します。

◆ 『O nata lux』 (光より生まれし光) 作曲 M. ローリゼン

第1ステージの中の1曲。ややゆったりしたテンポでの演奏が団の持つイメージに合っていたのか、非常に生き生きとした印象を受けた曲でした。相性の良さを感じます。躍動感もしっかり表現できており、この日の演奏の中では一番心地よく聴かせてもらいました。音楽の滔々とした流れがよく表現されていたように感じます。

演奏会を通じて、個々のパートの個性を色々と感じました。ソプラノは比較的大人しい印象。もう少し主張があってもよいくらいでしょうか。アルトは一番安定感があり、アンサンブル力も素晴らしく、まとまりのよさが演奏に出ています。バスはやや声に硬さを感じる部分があったものの、安定感たっぷり。テノールは個性的な印象の強い演奏でした。これからの課題としてパート毎の統一感を更に高め、合唱団としての演奏の立体感を作り出せれば、一皮も二皮もむけた演奏になると強く感じました。今後のコンクール神奈川県大会での活躍も期待しています。

【コール・キリエ】

◆第 20 回コール・キリエ演奏会 2011 年 6 月 19 日(日)藤原洋記念ホール

先日の青少年センターホールに続き、今回出向いたホールも初めての会場でした。東急東横線日吉駅を降りてすぐ。アクセスも抜群の会場です。客席数は509。響きも適度に柔らかく、数十名規模の合唱アンサンブルには最適のホールです。

今日の演奏会は神奈川でも有数の実力派合唱団でもあるコール・キリエの第20回演奏会。隔年で演奏会を開催していることもあり、この日を待っていたファンも多く、会場はほぼ満員の人出で熱気に包まれていました。

演奏ステージは次の4つです。

- I. 男声合唱・女声合唱・混声合唱で織り成す「合唱の響き」 II. 寺山修司の詩による6つのうた 思い出すために
- III. 合唱 in J-POP!
- IV. 第 20 回演奏会記念「Kyrie」に寄せて

I はキリスト教に関連する曲が中心、II では寺山修司/信長貴富のコンビの名曲。III ではポップスを会場と一体となって奏で、IV ではこの団体の名前の元になった Kyrie を特集するという、意欲的なプログラム。休憩時間、アンコールも含め全部で2時間半という、長めの演奏会でしたが、キリエのメンバーが奏でる素晴らしい演奏が時間の長さを感じさせませんでした。





キリエ演奏会の様子(左 III ステージ、右 I ステージ)

全ての曲を紹介したいのですが、紙面の関係もあり、い くつかに絞って印象を述べます。

◆Ⅰのキリスト教関連の曲

普段からラテン語をかなり歌いこんでいるのがよくわかる演奏でした。一部ドイツ語の曲もありましたが、曲のまとめ方にバラつきもなく、丁寧な印象を受けました。 男声のほうで、不協和音をのばした時、音が低くなっていく傾向もありましたが、そのほかはほとんど瑕疵のない演奏でした。女声パートの声の質感がそろえば、より一層高みに近づく演奏になるのではないでしょうか。

◆『風になりたい』

III のポップスコーナーの最後の曲。会場席にも団員が分散し、会場と一体となって歌いました。乗りの良い曲でもあり、団員手創りのマラカスなどを子供に配り、手拍子の練習を何度も繰り返すなど、一体感を盛り上げる工夫は素晴らしかったです。

こちらの団体もコンクール神奈川県大会に出場しますが、心配なのはきれいにまとまりすぎていることでしょうか。音楽堂以上の大きな会場では、丁寧な演奏が小じんまりした消極的な印象に変化してしまう場合があるからです。思いっきりノビノビと自分達の力を出し切れば、素晴らしい演奏間違いなし。今後とも名演を期待しています。

(記事:カノン担当 栗林)

★好評連載中★

コール・キリエ団長日記~親分はつらいよ~

【第3回】コンクールの意義②



カノンが送る 新連載第二弾! コンクールの親分が 本音トークで迫ります

~前回からの続き~

この中で曲と最も深いお付き合いが出来そうなのは③ (時間に囚われる事無く納得がいくまで歌いまくる)ですが、今出演しようとしているのはコンクール。順位が付くとなれば曲とのお付き合いの仕方が気持ちの上で変わってくると思います。楽譜上に記されている強弱記号や表現記号は勿論のこと、拍節的に歌ってリズムを刻むように歌う場面を作ったり、それとは対照的に滑らかなレガートで表現する場面も考え、はたまた表現上の強弱以外にその歌詞や文章のアクセントやイントネーションにこだわったり、言葉にはつきものである母音と子



鈴木行団長

音の処理等々素人の私にはこんな程度しか出てきませんが、取り上げた1曲をとことん突き詰めて表現しき

るには、それはもう大変な注意力と労力を要する訳です。



会場と一体で演奏する コール・キリエ

結果は後から付いてくる、、、、、どうせ出るなら良い評価・高い順位が欲しいと思うのが人情。コンクールで歌える曲数は時間制限があるので限られたものになりますから、取り上げた曲に対して「狭く深く」アプローチしていけます。そうすると、前述の様な表現をする為に時間や労力を惜しまず『曲』と向き合うようになりますよね。そうすることで『曲』への理解(詞の解釈や作曲者の意図)も深まっていくと思うんです。そして、その表現した音楽に対して第3者の客観的評価を得られる、それによって独りよがりな音楽にならない、、、、私はこれがコン

クールの『良い所』だと考えています。こんだけやれば、神様がご褒美を下さるでしょう。例え満足のいく 結果ではなくとも、その『曲』を表現しきったという満足感は得られると思うんです。

2点目は、他団体の演奏を聴く事で非常に勉強になるという点です。前述のようにして迎えるコンクール。その演奏はどの団体も熱く、輝かしいものでしょう。野球で言う一球入魂ならぬ『一曲入魂』『一音入魂』の演奏ですからね。そんな演奏を、一聴衆として客席で観賞すれば、自分たちに取り入れたり参考に出来る事がたくさん発見出来る筈です。もしかしたら自分たちと同じ曲を演奏する団体もあるかもしれません。絶

対に全てが同じ演奏ではないでしょう。その違いに触れるだけ でも経験値は上がると思います。

私は、神奈川県のコンクール開催時はスタッフとしてバックステージに居ないといけないので、中々皆さんの演奏をまともに聴く事が出来ません(閉会の辞に何をしゃべるか四苦八苦しているせいもあるかもしれませんが…)。毎回それが残念でならないのですが、『百聞は一見に如かず』ではありませんが(だって聴いてくれって話ですから、生演奏を見るという意味で)、コンクールに出演される方もそうでない方も是非とも客席に足を運んで頂いて、出演者の熱演を目の当たりして頂ければと思います。



全員での合唱 ※写真はいずれも第20回 コール・キリエ演奏会より

★カノン特別企画★ 注目の新曲紹介《PSALMUS》



カノンがお送りする 2011 年夏号の特別企画です。今回ご紹介するのは清泉女学院で委嘱した《PSALMUS》。一体どのような曲なのでしょうか。詳しい内容を顧問の佐藤美紀子先生に寄稿していただきました。

◆◇委嘱作品《PSALMUS》に結集した私達の祈り◆◇

3月11日、3日前に卒業式を終えた卒業生とともに《PSALMUS》の練習中、突然の大きな揺れが私達を襲いました。あの東日本大震災から3ヶ月が過ぎようとしている今も、自然の脅威に恐れおののいたあの時を鮮明に思い出します。平穏無事に過ごせることに感謝しつつ、被災されて天国に召された方、今、苦しまれている方々に、私達の「祈りの心」が届くようにと歌う毎日です、



全員での集合写真

♪ 委嘱作品の完成まで

盛岡にて行われた第60回全日本合唱コンクール全国大会にて、中学音楽部が鈴木輝昭先生作曲「終の日のわたしをやく...」を演奏し、文部科学大臣賞、カワイ奨励賞を受賞した際に、鈴木先生に怖ず怖ずと委嘱をお願いしてみることとしました。先生は快く引き受けてくださったばかりでなく、カトリック校である清泉女学院の委嘱の社会的意

義をもお考えくださり、アカペラの宗 教曲を3曲の組曲として創作されることをお約束くださったのです。

鈴木先生の鮮烈で壮大な音楽に、聖書のどのテキストが融合するかと悩むこと2ヶ月、シスター方のお知恵も拝借し、人間的な感情の起伏と強い祈りの心が表現されている「旧約聖書」の150編の詩篇の中から7編を選択しお渡ししたところ、51編と22編に目を留められたようです。



鈴木輝昭先生 [Photo] Shinji TAKEHARA

★~作品解説~★

2009 年作の詩篇 51 (50) 編 "Miserere mei Deus"「神よ、われを憐れみたまえ」は、ジョスカン、パレストリーナ、モーツァルトなど古今東西の数多くの作曲家が教会音楽として創作している詩篇、しかしながらラテン語で全文にわたる作品は、日本では初の試みとなる。鈴木作品は、複雑な和声と現代音楽特有のクラスターの響きが、斬新な構成と幅広い音楽領域によって展開していくことが特徴。2 群のコーラスを左右に配置し 12声部まで分かれることが多くあるが、51 編は初の試みとして 2 群を前後に配置し後方からの神秘的な響きを重視することとなる。

2010 年作の詩篇 22 (21) 編 "Deus,Deus meus,quare me dereliquisti?" 「神よ、わが神よ なぜ私を見捨てたのです

か?」は、キリストが十字架にかけられた時に最後に唱えられた詩篇であり、その内容の重さゆえに51編とは正反対に扱いが少ない。音楽的にも宗教的にもチャレンジな取り組みと言える。ラテン語とヘプライ語で始まる密度の高いオリエンタルな響きが特徴的な作品。

♪ ひたむきな思いを音に結集して

音源 MD を作成しての短期間での音取り、通常文とは異なる難解なラテン語になれ親しむ為に日々祈り唱える練習、平日は下校鈴 17 時という短い練習ですので、イタリアではバス移動の時間をも使い、私の自宅でパート練習するという計画的な練習を心がけました。鈴木先生から作曲に際しての原風景を伺いつつ練習を重ねたものの、壮大なハーモニーが「うねる尾根」のように続く曲を相手に一進一退の毎日、体力不足も災いし、奥深い鈴木作品の音像を完全には実現できないままにコンクールを迎えたこともありました。期末テスト中、新型インフルエンザの流行等の障害にも負けず、輝く音像を表現しようと真摯に取り組む生徒の姿に感動することも度々ありました。

正しく楽譜を読んだ後の最後の仕上げは、「回心」「新生」「聖化」「信仰心」へと転じていく 51編のテキストの深みをどれだけ表現できるか、テキストの背景となるユダヤ教と神との関係、シオニズムについても生徒に語っていきました。また22編では、キリストが感じられた十字架の重み、鞭打たれさらし者となる苦しみと屈辱の「絶望」から、信仰心ゆえに見いだす「希望」への転換が、カトリックの根本精神につながることを読み込んでいったのです。鈴木先生の音像を表現することで、希望を持って生きるという指針が身体中に浸透したことは、生徒の一生の宝となることと思います。

♪ 《PSALMUS》完成記念演奏会に向けて

委嘱という試みは、新し い音楽の創造へのチャレン ジ、鈴木先生の崇高な創作活 動に生徒も私自身も関わるこ とができ、幸せな2年間でし た。さて、最終作品はどのよ うな斬新な音楽をいただける のか? 楽しみでもあり、不 安感も増すこの頃です。7月 16日(土) に開催される委嘱 作品《PSALMUS》完成記念演奏 会に向けて、鈴木先生のお言 葉「華があること、チャーミ ングであること、ファンタジー があること」をモットーとし て、部員と共に音楽を楽しん でいきたいものです。



文化祭でのミュージカル風景 「ライオンキング」 「スカーレット ピンパーネル」

(記事寄稿:佐藤美紀子)

清泉女学院音楽部 第 25 回定期演奏会 委嘱作品《PSALMUS》完成記念演奏会 【日時】7月16日(土) 14:00 開演 【場所】鎌倉芸術館 大ホール 入場無料

当日、被災された中学、高校の合唱部への支援のための募金活動を行います。ご協力、よろしくお願いいたします。

◆演奏曲目・その他:全日本合唱コンクールF4課題曲の作曲家、 土田豊貴氏作曲「夢のうちそと」初演。セギッツイ国際合唱 コンクール、国内コンクール参加曲を演奏いたします。



カノンコンサートガイド



(お知らせ)

主催者の都合により、コンサート日程、内容等が変更になる場合がありますので、詳細につきましては各コンサートのお問合せ先にご確認ください。

7/30 (±)	レーベンフロイデ合唱団 第 11 回コンサート 18:00~ ハーモニーホール座間 大ホール 入場料:1,000円(全席自由 高校生以下無料) お問合せ:若山 046-239-2796 E-mail:miura_hayabusa13@yahoo.co.jp http://leben.ebi-chor.com 「柳河風俗詩」「野に歌う」「幼年連祷」他。指揮:乾健太郎、ピアノ:花光典子・児山卓史・宮地薫。
	Ensemble Now 第 42 回定期演奏会 18:30~ 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール 入場料:1,500円(全席自由) お問合せ:池田 044-750-3185(Tel & Fax) E-mail: QZD01734@nifty.com http://ensemblenow.main.jp/ リスト・フォーレ宗教作品、間宮芳生、心に沁み入る日本の歌、ブラームス/ジプシーの歌を演奏します。
8/21 (日)	南足柄ジュニア・コーラス 南足柄ジュニア・コーラス定期演奏会〜第 25 回記念演奏会〜 14:00〜 南足柄市文化会館 大ホール 入場無料 お問合せ: 蟻生栄子 0465-74-6634(Tel & Fax) ミュージカル「くるみ割り人形」モーツアルトの「こんにちはアマデウス」など OB・OG も出演 ピアノ 近岡直人、湯山睦子、指揮 蟻生栄子
8/27 (±)	レグルス・アンサンブルレグルス・アンサンブル第 4 回演奏会19:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール入場料: 2,000 円(全自由席)お問合せ: 大山 045-572-6172(Tel & Fax)E-Mail: janequin@agate.plala.or.jp http://www12.plala.or.jp/yokohamaregulus/中世ルネサンス時代の曲を演奏する団体です。演目はジョスカンのミサ曲、ジャヌカンのシャンソンなどです。
9/4 (日)	混声合唱団小田原木曜会 第 36 回定期演奏会 14:00~ 小田原市民会館 大ホール 入場料:1,000円 お問合せ:吉田廣子 0465-22-6788(Tel & Fax) http://www.geocities.jp/suutia0406/ A. キンタナの Mass From Two Worlds、信長貴富の新しい歌、林光のマザー・グース曲集等を演奏

9/11 (日)	混声合唱団 翠声会 混声合唱団 翠声会 第 34 回定期演奏会 17:00~ 大田区民ホール「アプリコ」 大ホール 入場料:1,500円(全席自由) お問合せ:市村 090-9392-4263 E-mail:ichim21@gmail.com http://www9.plala.or.jp/suiseikai/曲目:モーツァルト「レクイエム」(オーケストラ伴奏)・信長貴富「かなしみはあたらしい」、指揮:中村皇
9/19 (月·祝)	アンサンブル ミルフィーユ 金沢少年少女合唱団 Chor Muse et Lys Trinity 小さな秋のコンサート 13:30~ 県立音楽堂 入場料:1,000円(収益金の一部を東日本大震災の義援金として寄付致します) お問合せ:福田 045-332-4117 平井 045-952-0007 E-mail:tamotsu1039@nifty.com 平井保が指揮をする7つの合唱団が出演。コールミュゼリス、Trinity、平塚の合唱団等が出演します。
	横浜グリークラブ 第15 回定期演奏会 14:00~ 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料:1,500円 お問合せ:西村 045-773-2903 石塚 045-314-0454 http://ygc1953.web.fc2.com/ 4 ステージ 多田武彦/合唱組曲「雨」・J.Haydn / 「Missa brevis」、その他ポップス・ロシアの歌
9/25 (日)	日本大学生物資源科学部 Chorus group 'Ondine' 10 周年記念コンサート 14:00~ 第一生命ホール(都営地下鉄・大江戸線「勝どき駅」) 入場無料(全席自由) お問合せ:村上 090-3425-2959 E-mail: ayana_murakami@nifty.com http://homepage3.nifty.com/ondine/ "うた"を歌う/コーラス onJ-POP/歌って踊って☆ We Love ディズニー!/混声合唱組曲「永久二」
9/28 (水)	アンサンブル・プリュサン 「どうにも…気になるコンサート 2011」 19:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料: 2,000 円 お問合せ:上原優子 044-989-1773(Tel & Fax) 金井信氏の編曲による武満徹メドレー・シャンソン・ミュージカルメドレー・JPOP メドレー等を演奏します。
10/2	シーサイド・グレイスフル・シンガーズ 第7回 定期演奏会 14:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,000円 お問合せ:山本美千代 045-701-1585(Tel & Fax) 創立 20 周年。歌に踊りに果敢に挑戦「アベ・マリア集」「五つのジャズゾング」「マイ・フェア・レディ」他
10/18 (火)	まほろば煌(きらら) コンサート"澪"~ななたびめの~ 14:00~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,500円 お問合せ:竹中満智子 0467-84-5747(Tel & Fax) http://mahorobakirara.web.fc2.com/ 音楽室から流れたあの歌この歌と題した懐かしい曲の数々を指揮吉田孝古麿・朝倉蒼生、ピアノ渕上千里で演奏。
10/22 (土)	女声合唱団「松」 女声合唱団「松 (SHO)」第8回コンサート14:30 ~ 鎌倉芸術館 大ホール入場料:一般 1,500 円 学生 800 円 (全席自由)お問合せ:細村 0467-44-1569 http://www9.ocn.ne.jp/~shosho/「水の女」、デルファー「レクイエム」、「ふるさとの四季」他を松村努指揮、織田祥代ピアノで演奏致します。

10/23	女声合唱団サーズディ・チャター 創立 30 周年記念 The 6th Concert 15:30~ ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 入場無料 お問合せ:柏倉 046-834-0760 「ゴスペル・シャワー」「KLEINE STILLE NACHT-MESSE」「悲しみの枝に咲く夢」他
	横浜オラトリオ協会合唱団 横浜オラトリオ協会合唱団第75回定期演奏会 18:00~(予定) 鎌倉芸術館 大ホール 入場料:1,500円 お問合せ:山田 080-1012-6183 E-mail: masa-ya@orion.ocn.ne.jp http://www.geocities.jp/yokohama_oratorio/ サン・サーンス「レクイエム」、メンデルスゾーン「合唱曲集より」、林光編曲「日本抒情曲集より」
10/30	横浜紅葉丘合唱団 第 23 回演奏会 14:00~ 県立音楽堂 入場料:1,000円(全席自由) お問合せ:澤口のり子 045-852-9479(Tel & Fax) 宮前裕子 045-711-3801(Tel&Fax) E-mail:mutouvsk@jp.bigplanet.com 「落葉松」を中心に日本、ヨーロッパのなじみのある曲を選んでみました。お楽しみください。
11/1 (火)	アンサンブル・プラムベリー 第 11 回ポップス・コーラス・コンサート『マロ先生のハット・トリック』パート I 19:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料: 2,000 円(自由定員制) お問合せ:高根 0467-57-2860 吉田孝古麿(指揮)氏の作曲・編曲作品の紹介。ピアノ:宮 怜子/フルート:小林悦巳
12/10 (土)	混声合唱団コールシュテルン 第5回定期演奏会~15年の感謝を込めて~ 14:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場無料(要整理券) お問合せ:松浦 045-547-3027 風が~二度とない人生だから~モーツァルトミサ D KV194、マイフェアレディー他、指揮 夏目張安 ピアノ 今野深雪、ジオ・カローレ

~県連からのお知らせ~

1. 神奈川県合唱コンクール

(1) 中学校部門(同声・混声)、高等学校部門(A・Bグループ)

日時: 平成23年8月24日(水)11時開演(予定) 会場: 県立音楽堂 入場料: 一般1,000円(高校生以下無料) 審査員: 金川明裕、岸信介、清水雅彦、長谷川冴子、堀俊輔(50音順)

(2) 大学部門・職場部門・一般部門 (A・Bグループ)

日時: 平成23年9月4日(日)11時開演(予定) 会場・入場料・審査員は同上

2. 関東合唱コンクール

(1) 中学校部門(同声·混声)

日時: 平成23年9月24日(土)10時開演(予定) 会場: 群馬音楽センター 入場料: 一般1,300円 中学生以下1,000円 審査員: 鈴木茂明、髙嶋昌二、竹内秀男、松原千振、渡辺三郎(50音順)

(2) 高等学校部門 (A·Bグループ)

日時: 平成23年9月25日(日)10時開演(予定) 会場・入場料・審査員は同上

(3) 大学部門・職場部門・一般部門 (A・Bグループ)

日時: 平成23年10月2日(日)10時開演(予定) 会場: よこすか芸術劇場 入場料: 一般1,300円 中学生以下1,000円 審査員: 雨森文也、金川明裕、清水敬一、松原千振、渡辺三郎(50音順)

**今年の合唱コンクール関東大会(大学・職場・一般部門)は神奈川県連の主管で開催されます。

チケットは、県連事務局またはよこすか芸術劇場において販売中

新理事紹介 ••••



氏 名	青山 道代(あおやま みちよ)
所属合唱団	湘南はまゆう(婦人会員)
パート	アルト
趣味・特技	コーラス
抱負を一言	今までお世話になるばかりでしたので、お役にたてるようになりたい と思います。よろしくお願い致します。



氏 名	後藤 裕介 (ごとう ゆうすけ)
所属合唱団	横浜国立大学グリークラブ(大学会員)
パート	ベース
趣味・特技	小学生の時から高校まで柔道をしていました。
抱負を一言	グリークラブを通じて男らしく、ベースらしくなっていきたいと思い ます。そして定期演奏会が最高の舞台になればと思っています。

★好評連載★



副理事長のつぶやき

【第3回】卒業記念



カノンが送る 新連載第一弾! 平井副理事長が 本音を語ります

平井 保

6月3日午前、みなとみらい大ホールに元気の良い歌声が響きました。恒例となった岐阜県下呂市立金山中学校3年生75名の生徒達による演奏です。

7年前、金山中学校は修学旅行のスケジュールの中に、横浜のみなとみらいホールで合唱をし、録音をとり、それを卒業記念の CD にするという素晴らしい計画を立て、実行しました。その時合唱指導の依頼がプロジェクトによせられ、たまたま私が指導に伺ったのがご縁で、現在までお付き合いが続いています。

修学旅行のスケジュールに合唱の録音をとるという計画がなぜ実行できたのか。それは金山中学校の指導方針に「合唱」が明記されているからです。

全国に何千という中学校があるでしょうが、こんなすばらしい計画を実行しているところを、私はほかに知りません。

7年前から始まった金山中学校とのお付き合いは、現在修学旅行の前の指導とみなとみらいホールでの録音、 秋の校内合唱コンクールのための指導と、年3回に広がりました。最初の頃は楽譜通りになかなか歌えなかった のですが、今は堂々と混声4部合唱を歌っています。それも3年生全員ですから、そこがすごいのですね。

春と秋は私が金山まで出向きます。片道6時間のドライブですが、温泉が楽しみなので苦になりません。学校の花壇の根っこを鹿やイノシシが来て食べてしまうという学校ですが、子供達や先生方の合唱にかける情熱は、目を見張るものがあります。「合唱は子供達を確実に育てている」と語る先生方。休み時間や放課後にはどの教室からも歌声が聞こえてくる山の学校。何とも素晴らしい世界ではありませんか。

皆さんも一度訪ねてみてはいかがでしょうか。そこに合唱を愛する子供達を目にすることが出来ますよ。

―― 県連からのお知らせ ――

<東日本大震災に伴う義援金募集について>

総会でも通知いたしました通り、先般発生いたしました東日本大震災に対し、神奈川県合唱連盟として被災地及び被災された方々への支援の一環として、4月以降の県連各行事における募金箱の設置による募金の呼びかけを行いました。同時に、神奈川県合唱連盟が窓口となり、各団体・個人からの義援金の受付も実施いたしました。その結果以下の団体、個人の皆様より暖かいご支援を頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。いただきました義援金につきましては、少しでも早く現地で活用していただこうと、5/24の時点で第一回目の寄付を朝日新聞厚生文化事業団に行いました(425,818円)。また当活動につきましては、今後とも継続して募集しておりますので、合唱連盟経由での寄付をご希望される団体、個人の方は引き続き以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【郵便振込】口座記号:00200-8-100874 加入者名:神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意下さい。

~義援金をお寄せいただいた団体・個人の皆様~(6/20 現在:全24 団体:振り込み順)

樫の実コーラス、鶴見女声合唱団、女声合唱団「松」、田中登志生、渡辺三郎(アンサンブルコンテスト審査員)、緑フラウエンコール、歌のつばさ、旭混声合唱団、しほみコール、Trinity、まどかコーラス、おたまじゃくしの会、女声合唱団みみずく会、コール・シャンテ、コーラルあじさい、コールやまて、グループたんぽぽ、クール・ヴァロア、三ツ沢合唱団、女声合唱団サーズディ・チャター、アマポーラ、洋光台男声合唱団、クローバーの会、横浜木せい会

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたは e-mail にて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は 1 演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

また有料掲載につきましては、神奈川県合唱連盟に所属していない団体からも掲載を受け付けることが可能です。その場合の料金に関しては、下記掲載料の倍額とさせていただきます。

1 無料掲載:①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先 (Tel / Fax / e-mail / H P の記載可) ⑦コメント (50字以内) を掲載いたします。

2 有料掲載: 1/8〜2,500円(1/4〜5,000円、1/2〜10,000円、1〜2 20,000円)での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本(手書きも可)をメール、FAX 等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定:春号 4月10日発行予定(〆切:2月10日) 夏号 7月10日発行予定(〆切:5月10日) 秋号10月10日発行予定(〆切:8月10日)冬号 1月10日発行予定(〆切:11月10日)

<取材希望団体募集> 「かながわの合唱団を訪ねて」のコーナーでは、取材を希望する合唱団を募集しています。希望団体は県連事務局にご連絡下さい。スタッフが取材いたします。

<編集後記> 今回もバタバタの編集作業になりましたが、いつもお力添えいただいている編集委員の皆さんに、この場を借りて御礼申し上げます。また、上記『県連からのお知らせ』にも記載がありますが、引き続き義援金を募集しています。各団体の演奏会などで募金活動をした場合などにご活用いただければ幸いです。(編集長:K)

神奈川県合唱連盟「情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会 発行責任者 田中登志生 編集責任者 栗林宏至

神奈川県合唱連盟・事務局

T231-0021

横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館4階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐・毎週月~金(休祝日を除く)12:00~16:00

URL http://kanagawakenren.la.coocan.jp/e-mailアドレス kanagawakenren@nifty.com

